

JOCジュニアオリンピックカップ 第5回全国中学生弓道大会実施要項

1. 目的 中学校教育の一環として、中学校生徒に広く弓道競技の実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身とも健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
2. 主催 財団法人 全日本弓道連盟
3. 後援 文部科学省 / JOC / 財団法人 日本中学校体育連盟 / 東京都教育委員会
財団法人 東京都体育協会 / 明治神宮 / 明治神宮崇敬会 / 財団法人 日本武道館
4. 主管 東京都弓道連盟
5. 期 日 平成 20 年 8 月 16 日 (土)・17 日 (日)
6. 会 場 全弓連中央道場 / 明治神宮武道場至誠館弓道場
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町 1 - 1 TEL 03-5302-5865
(道順) JR 山手線・都営地下鉄大江戸線「代々木」駅から徒歩 15 分。または小田急線「参宮橋」駅から徒歩 10 分。
7. 競技種目 近的競技 (坐射・直径 36 cm 霰的)
8. 競技種類 団体競技 (1 チーム 3 人) / 個人競技
9. 競技種別 男子の部 / 女子の部 (団体, 個人とも)
10. 競技規程 (財)全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに本大会「実施要項」による。

11. 競技日程
(予定)

期 日	時 間	内 容	場 所
8 月 16 日 (土)	9:00~	監督会議	至誠館弓道場
	10:00~	開 会 式	全弓連中央道場
	10:20~	矢 渡	
	11:00~	団体, 個人予選 (1 回目, 2 回目)	全弓連中央道場 至誠館弓道場
	16:00~	団体決勝トーナメント抽選	全弓連中央道場
8 月 17 日 (日)	9:00~	団体決勝トーナメント 1 回戦 ~	全弓連中央道場
		個人決勝	
		団体決勝トーナメント 2 回戦 ~	
	16:00~	閉会式	

12. 競技方法

(1) 団体競技

- 予 選 1 団体 24 射 (各自 4 射 2 回) にて的中数上位 16 チームを通過とする。
- 決 勝 1 団体 12 射 (各自 4 射) にてトーナメント方式で順位を決定する。
- 同中競射 予選通過決定および決勝トーナメント戦において同中の場合は, 1 チーム 3 射 (各自 1 射) の競射を行い, 決定するまで繰り返す。

(2) 個人競技

- 予 選 各自 8 射 (4 射 2 回) 行い男子は 6 中以上, 女子は 5 中以上の的中者を通過とする。
- 決 勝 射詰競射にて順位を決定する。射詰の 9 射目以降は, 24cm 星的を使用する。的中を逸した同位者は, 優勝決定以外は遠近競射 (36cm 霰的) で順位を決定する。

13. 競技における注意事項

(1) 団体競技

- 選手登録 各団体とも選手 3 名・補欠 1 名・監督 1 名とする。競技は参加申込の登録順に 3 名で行い, 立順の変更は認めない。
- 射場分け 予選は 3 射場 (9 人立), 決勝トーナメントは 2 射場 (6 人立) で行う。

- 制限時間 1立7分以内とする。
 ア)時間の計測は、本座における進行係の「始め」の号令から自チームの最後の弦音までとする。
 イ)6分30秒で予鈴、7分で本鈴を鳴らす。
 ウ)弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
 エ)競射については、進行係の指示に従うこと。
- その他 選手は四つ矢のほか替矢(予備矢)を2本準備すること。決勝トーナメント戦における同中競射の1本目は替矢を使用する。

(2)個人競技

- 選手登録 選手1名・監督1名とする。選手の変更は認めない。
 射場分け 予選、決勝とも3射場(9人立)で行う。
 行射時間 特に設けないが、殊更に間合が伸びないように各自注意すること。

(3)その他

- 競技の服装は、弓道衣(筒袖・袴・白足袋)とする。
 予選立順の組合せは、申込締切後、実行委員会にて抽選により決定する。

14. 表彰

- (1)団体競技(両種別とも)
 上位8団体を表彰する。優勝(1団体)・2位(1団体)・3位(2団体)・5位(4団体)
 優勝団体には優勝杯を授与する。(持回り)
 技能優秀団体を選出し、技能優秀杯を授与する。(持回り)
- (2)個人競技(両種別とも)
 8位まで表彰する。
 個人優勝者には優勝杯を授与する。
 技能優秀者には技能優秀盾を授与する。

15. 参加資格

- (1)健康上支障のないと認められた中学校生徒で、各都道府県弓道連盟(地連)会長が認めた選手・団体であること。
 (2)本大会は、中学校弓道部に所属する生徒に限らず、地域弓道団体やスポーツ少年団などで活動する生徒も出場できる。団体のチーム編成は、同一中学校に限らず混成チームでも可。ただし男女の混成は認めない。
 (3)監督・引率者は、中学校弓道部での出場の場合は当該校の職員、または学校長の認める指導者であること。地域弓道団体やスポーツ少年団などでの出場の場合は、その団体の責任ある立場の指導者とし、生徒が在学する当該校の学校長に了承を得ること。

16. 参加制限

- (1)各都府県、両種別とも団体戦は各1団体、個人戦は各1名とする。
 (2)北海道は南地区(中央・西部・南部各地区)、北地区(中部・東部・北部各地区)の各1チーム及び各1名の出場を認める。
 (3)開催地は、(1)のほか両種別とも1団体、及び1名の出場を認める。

17. 申込要領

- (1)所定の申込用紙(4枚複写)に必要な事項を記入のうえ、所属する都道府県弓道連盟(地連)会長の認証を受け、うち2枚を下記の申込先に提出のこと。残り2枚は出場団体及び所属地連の控えとする。全弓連会員IDを必ず記入すること。
 (2)申込先 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内419号
 (財)全日本弓道連盟 「第5回全国中学生弓道大会係」宛
 TEL03 3481 2387 / FAX03 3481 2398
 (3)申込期限 平成20年7月29日(火) **県連締切 7月19日(土)**

18. 宿泊

宿泊の斡旋を行う。詳細は別添・宿泊斡旋資料を参照のこと。

19. 大会申込書に記載される個人情報の利用目的について

- 大会申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。ただし、下記(2)の本連盟機関誌・ホームページへの掲載に関しては、本人より不同意の申し出があった場合は、公開を停止する。
- (1)大会プログラムならびに事務連絡文書への記載。(氏名、学校または団体名、学年、段位)
 (2)大会結果報告として、関係団体宛文書及び本連盟機関誌・ホームページへの掲載。(氏名、学校または団体名、学年、段位、写真)
 (3)報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。